



原発問題から医療と生活を考える ～医学生が本気出してみたらどうなる?!～

8月16～18日、岩手県花巻市で第33回全日本民医連医学生をつどいが開催されました。全国の民医連に関わる医学生が集まって、様々なテーマで講演を聞いたりフィールドワークをしたりして、将来の医療者としての学びを深めています。今回のテーマは「原発問題から医療と生活を考える～医学生が本気出してみたらどうなる?!～」でした。

チェルノブイリ原発事故や今回の福島原発事故の取材をされたフォトジャーナリストの森住卓さんの講演や、福島で農業をされている方、福島の病院の医療相談員、被災地支援にかかわった医師からお話を伺いました。話を聞き、「自分に何が出来るのかを考えながら話を聞いていた。実際に福島に行ってみてみたい」という感想が話されていました。毎回の講演の後には、医療者として地域から、社会から自分た

ちにどんなことが求められているのか、班の中で意見を出し合うSGD(Small Group Discussion)も行いました。他にも、脱原発運動をされている方や、福島で子どもを育てている方、原子力発電所立地県で暮らす方の話などを聞き、原発政策が地域や暮らし、医療にもたらしている実態について学びました。

参加した学生からは「一番問題なのは、国が国民を見ていないこと。一番怖いことは対岸の火事だと思っていたら、自分の足元の火事だった、という言葉が印象的だった」との感想も聞かれました。

これから医療者になっていく医学生と本気出して原発問題を考えてみた3日間。将来の医療者として「医学」だけではなく、自分たちの「社会」を見る目と主体性をこのつどいで深めることができたと思います。



愛知の医学生活動紹介ポスターを事前に作成。全国の医学生と1年間の活動を交流しあいました！



2日目、分科会の様子。原発を取り巻く様々な問題について、いろんな視点から学びました。



SGDの様子。KJ法で疑問や意見を出し合っているところ。講演を聞くだけではなく、自分たちの問題として考えました。



全国から総勢180人以上の医学生が集まって、学びと絆を深めました。



シンポジウムの様子。農業、医療の分野から実態を伺いました。

ご案内

高校生通信のアンケートに答えて

図書カードをもらっちゃおう♪

高校生通信秋号、いかがでしたでしょうか？一日医師体験でお会いできる事を、編集者一同、楽しみにしております。よりよい紙面作成のため、アンケートにご協力ください。アンケートに答えて頂いた方に、図書カードをお送りいたします。(応募者多数の場合は抽選になります。)

応募は携帯・パソコンどちらからでも可能です。



QRコードか、下記のURLからアクセスをお待ちしております。
<http://aichiminiren.jp/tsuusin/>

愛知民医連奨学金制度のご案内

対象：医学部・医学科生(医師をめざす方)

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会(愛知民医連)

事務局：〒456-0006
名古屋市中区熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F
TEL : 0120-193666 (フリーダイヤル)
052-883-6997 (代表)
FAX : 052-889-2112
Email : niwa@aichiminiren.jp
URL : <http://www.aichiminiren.jp/>



実習・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 担当：丹羽まで

高校生通信

2012.10月発行



今号の内容

特集

一日医師体験
気分転換にどうぞ
民医連の企画の紹介
ご案内

2012
高校生・予備校生

夏の一泊医師体験開催!!
職員からのメッセージ

このドクター漫画がおススメ!!「ダーク・エンジェル」

第33回 全国 医学生をつどい(in岩手・花巻)
高校生通信のアンケートに答えて
図書カードをもらっちゃおう♪



表紙写真:2012年夏 一日医師体験より

高校生通信担当者より 皆さんの夢、サポートします。

愛知民医連で一日医師体験の担当をしています。今年もたくさんの参加がありました。夢に向かって頑張ろう、というこの時だからこそ、感じられることがたくさんあったのではないのでしょうか？技術だ

けではないものを医療現場のスタッフから感じ取ってほしいと思っています。体験をしたことがないというみなさん、ぜひ現場に足を運んでみてください！
愛知民医連 高校生・医学生担当 丹羽史架



医学生からのメッセージ



鹿児島大学1年
桑山 紗也華

大学に入って、早くも半年が過ぎて、毎日充実した日々を過ごしています。

まだ、専門の勉強は少ししか始まっていないのですが、教科書の厚さを見て、これから学んでいく知識の量に驚きを隠せませんでした。やはり人の命を預かる職業に就くのだから当たり前だな、と感じています。それと同時に責任感も身に付けていかなければならないと思うようになりました。また、勉強だけでなく部活はもちろん、先輩にドライブに連れていってもらったり、友達と色々なところに遊びにいったりと、毎日が本当に楽しく、受験を乗り越えて本当によかったな、と実感しています。

受験のことを少し書こうと思います。去年の今頃はやる気をなくしそうになりながらも必死に自分を奮い立たせていたことを思い出すと懐かしくも思えます。この時期は、夏休みに取り組んだことが徐々に結果として出てくると思います。もし、結果に現れなくても、必死に取り組んだ人は必ず結果が出ます。だから焦ったり、やる気をなくしたりしないでください。満足する結果がでなかったら、死ぬ気で勉強してください。その頑張りや報われる日が来ることを願っています。

2012
高校生・予備校生

夏の一日医師体験開催!!



一日医師体験に
参加されたみなさんへ!

医師体験に参加されたみなさん、お疲れさまでした!
今年の夏は、約17校から44名の参加がありました。
参加した病院の職員からのメッセージを紹介します。



内科に小児科に外科。デイケアだってありました。いろんな職種の人たちがひとりひとりの患者さんに対して、元気に暮らせるように働きかけているのがわかりましたでしょうか。ちょっとドキドキした、こんなお医者さんになりたい、こんな風に患者さんと接したいなど、いろんな感想がありました。今度は、また新たな気持ちと場所でドキドキ体験してみませんか。

北医療生活協同組合北病院 小児科医師 近藤知己

僕が高校生だったのはもう9年も前のことで、遠い過去のこのように思えます。今思い返してみても学生ってめちゃめちゃ楽しいです!今やれることを全力でやりましょう☆勉強と部活と恋愛(?)と。。。しかーし!!大学生活はもっと楽しいです☆だから部活や恋愛は大学にとっておいて、今は勉強するっていうのがオススメです。みんなファイト!!



協立総合病院 大瀬研修医



病院業務の裏側を一見した皆さんは、患者に対する医療責任と、患者要求を担う職場を体験されたことと思います。体験学習を受けられている間、興味深く関心をもったあなた方の目の中には近い将来の医療に対する期待を感じました。今の私たちではかなえることの出来ない医療を実現することが出来るのではないのでしょうか。

名南病院 高木臨床検査技師



一日医師体験参加者の皆さん、お疲れ様でした。高校生、受験生らしく、パワーに溢れているなど感じました。皆さんのキラキラとした笑顔が印象的です。その笑顔のおかげで、逆にエネルギーを分けてもらいました。企画してよかったと思える一夏でした。今回の一日医師体験で、皆さんのモチベーションが上がるといいなと思っています。医学部進学目指し頑張ってくださいね。モチベーションが下がりそうになったら、また医師体験に参加してください。お待ちしております。

協立総合病院 小松医局事務

看護師は、患者様の側から客観的な情報や訴え・社会背景・思いなど伝えます。そして医師が出した指示を行ない、医療行為により患者様の状態が改善していく姿をみています。医療現場では、様々な職種が存在します。指示リーダーは医師ですが、患者様に関わる職種はいっぱいいて、人との関わりの中でそれぞれに情報があります。医師はコミュニケーションをとりながら、チーム医療を展開して欲しいと思います。今、医療現場は、指示記載・約束記載などなかなかベッドサイドへ行けない、時間がないなど困難な状況もあります。そのような状況に負けず、ともに頑張っていける医師を待っています。

名南病院 丸田看護師



医師との回診風景。患者さんとも直接お話しさせていただきました。



放射線科にて画像の見かたを教えてもらいました。

医師体験の様子♪



看護師と血圧測定体験。友達同士で測りあいもしました。

これを読んで参加してみたいな、あなた! 次回の医師体験の案内をお待ちくださいね!!



“この地域”とともに 私たちのドクター!



こんなことも医師の仕事?!

北病院 内科医師 浅海 嘉夫



こんにちは、北病院の内科医師、浅海です。北病院は52床の小さな病院で、内科、小児科、整形外科、耳鼻科をもっており、私はその内科の中でも主に循環器内科として診療に当たっています。最近の日常診療は、高校生のみさんの想像を超え、他病院との連携、在宅医療とのネットワークづくりなど、診察室、病室だけで収まらないほど多忙、多様化しています。しかし、みなさんの知らない医師の仕事がまだあるのです。

地域での医療講演会や、街なかのHIV検査のボランティア活動をしています。変わったものでは、高校の非常勤講師として授業を行ったり、愛知サマーセミナー(中高生、父母、教員の祭典)で講演を行っ

たりもしています。なぜ自分が医師になったか、医師は何をするものなのか、何があれば医師になれるのかなど、医師になろうか迷っている生徒たちに語りかけることで、自分の医師としての初心に気付かされさえます。最近では、ひょんなことから全日本民医連被ばく問題委員を引き受けることとなり、その直後の東日本大震災、原発事故のため、その支援、被ばく相談活動に追われています。

医療ドラマ、医療マンガでは語られない医師の役割、面白さもあることも知っていただき、多くの高校生が地域に根ざした医師を目指してほしいと思います。



このドクター漫画が
おススメ!!

医師/棚橋 千里
総合病院南生協病院
病理医
名市大93年卒

風間 宏子



「ダーク・エンジェル」

秋田書店
著:風間宏子

今回は、“ブラックジャック”の女性版のような漫画を紹介します。

主人公は氷川魅和子。美しく、ミステリアスな女性医師です。

婚約者を失い、「自分に女性としての幸せは二度と来ない」という思いを心の奥底に秘めながら、どここの病院にも所属せずに流れの外科医をしています。

腕は一流!でも報酬がムチャクチャ高い!…ね、ブラックジャックみたいでしょ?でもこの魅和子さん、外科医として腕がイイだけじゃないんです。

ちらっとみただけで、宝石の原石の価値がわかっちゃう!ちょっと匂いがただけで、お香の種類を当てちゃう!なんと、女性としてもスーパーな能力をお持ちなんです。

そして、活躍するのは日本だけではなく、バンコクやら香港やらなんと王国やら、それはもう幅広い!ということは、語学もお

達者なんでしょうね。

そんな魅和子さん、クールで言葉少なゆえ誤解されやすく、たいがいは、「ひどい医者だ!」「守銭奴!」「人間としてなにか欠けてる!」「人の心がないのか!」と、ひどい言われようです。さらに、魅和子さんの行動を理解してくる数少ない人には、「礼はいりません。報酬分の仕事をしただけですから。」と、どこまでもクール。

なぜ、婚約者はいなくなっちゃったのか?なぜ、医学界から追放されてしまったのか?

そのあたりの秘密にワクワクしつつ、ああこんな美人でなんでもできる女性医師になれたらなあ…などと考えつつ、「ありえん!」と一喝しながら読める多面的な楽しみ方のできる漫画です。勉強の合間にも、ちょっと読んでみませんか?